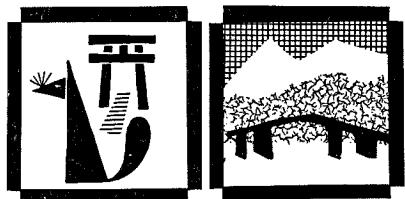


No. 31

昭和59年 新年号

診断京都

(題字 橋口会長筆)



京滋見どころ



(写真の提供 (株)京都フィルムエイジェンシー永野一晃氏)

このパンフは(社)中小企業診断協会京都支部が発行しております

けまり
蹴鞠

蹴鞠は古代中国より伝來した貴族の遊戯で、四方に桜、柳、松、楓を植えた鞠壇と呼ぶ庭で、数人が革沓をはき、鞠を蹴り上げ地面に落さぬよう受け渡していく、現代でいえばサッカーのようなもの。

現在も宮中の祝賀の折など、京都御所で行われることがあるが、毎年1月4日は下鴨神社で古式のままに、蹴鞠始めが一般の人々に公開される。

目 次

〈京滋みどころ〉 蹴鞠(1)
〈あいさつ〉(2)
〈資料・情報〉 京・滋の全国1~3位(2)
〈景況・業界動向〉 昭和59年度の経済見通し(4)
京都府内企業経営予想天気図(5)
〈調査・診断〉 工場立地の要件とそのインパクト(6)
〈一口メモ〉 予想のむづかしさ(8)
〈提言(ちよっと一言)〉 わかったようでわからないこと(8)
〈経営〉 心と健康と人間関係の調和(9)
〈会員の頁〉(10)
〈京都支部便り〉(11)
〈企業広告〉(11~12)

☆社団法人中小企業診断協会京都支部は、中小企業診断士で作っている団体で、京都府と滋賀県の各分野で活躍している約100名が加入しています。

☆中小企業診断士とは、通商産業大臣の認定を受けて登録している、わが国唯一の公的資格を有する経営コンサルタントです。

あいさつ

年頭のご挨拶

(社)中小企業診断協会京都支部

支部長 黒川倉市

明けまして、おめでとうございます。皆様には、ご健勝で、ますますご繁栄の裡に、新春をお迎えになられましたことを、心からお慶び申し上げます。

当京都支部の運営につきましては、平素関係諸団体並びに会員諸先生方格別のご指導とご協力のおかげをもちまして、昨年もまたスムーズにこれを進めてまいることができました。ここに厚くお礼を申し上げます。

さて、この1年の支部活動をふりかえりまして、例年実施の政府受託事業関係の登録更新研修会の開催はもとより、機関紙「診断京都」の定例刊行、スライドの利用による経営者に関する研究会。殊に大手2社の工場見学から得た示唆と貴重な教訓は参加者ならではの感を深くし、特筆すべき行事の成果であったと確信いたします。

さらに、去る57年に引き続き、京都市からの受託業務として「生産性と賃金」。またその他の関係機関からは「販売生産性と人件費」に関する調査業務をお受けいたしましたが、このことは会員中小企業診断士の職域拡大をはかる事業を推進してゆく上に極めて深い意義があると考えます。

最近中小企業診断士に対する社会的評価は頗る高まってきたといわれますが、それだけに私どもは、ますます研鑽し、且つ資質を向上して、各界の期待と要請に応えなければなりません。また現在、中小企業診断制度の見直しが中小企業近代化審議会で検討され、中小企業診断士の在り方も同時審議されていると聞きます。

これをふまえて、私ども中小企業診断士は、さらに社会的地位の向上を重要課題とし、活動の場を確保し拡げてゆく必要があります。それにはまず、わが中小企業診断協会への力の結集が不可欠であり、かねてから繰りかえし強調するゆえんでもあります。ここに重ねて絶大なご支援ご協力を願い申し上げます。

資料・情報

京・滋の全国1～3位（良い事も悪い事も）

全國第1位

【京都府】

【滋賀県】

学校教育の部

- ◆大学教（人口10万人当たり）
(55年次0.91校、全国は0.38校)
- ◆収容力指數（当該県の大学進学者に対する当該県への大学入学者割合×100）
(55年次4.24、全国は1.49)

居住環境

- ◆公営賃貸住宅の家賃（1ヶ月3.3m²当たり）
(55年次1,437円)

健康・医療

- ◆乳幼児健康診断受診率（対0～5歳人口）
(55年次43.47%、全国は27.41%)

自然環境の部

- ◆自然公園面積割合（対総面積）
(56年次36.43%，全国は14.20%)

経済基盤の部

- ◆第2次産業県内純生産額割合（対県内純生産額）
(54年次55.64%，全国は38.48%)

学校教育の部

- ◆公立幼稚園在園者割合
(55年次87.54%，全国は26.31%)

- ◆高卒者の就職者率
(55年次100%，全国は99.36%)

- ◆大学・就職先とも高校の所在地県である者の割合
(55年次87.14%，全国は55.76%)

社会保障の部

- ◆国民年金被保険者数（任意）
(人口千人当たり)
(55年次87.24%，全国は67.17%)

安全の部

- ◆建物火災損害額（建物火災1件当たり）
(55年次18.34百万円、全国は3.81百万円)

全 国 第 2 位

<p>家計の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ルームエアコン所有数量 (全世帯, 1000世帯当たり) (54年次1,125台, 全国は643台) <p>安全の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆交通事故死傷者数 (人口10万人当たり) (55年次817.54人, 全国は518.94人) ◆警察官数 (人口1,000人当たり) (55年次2.30人, 全国は1.79人) <p>経済基盤の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆企業所得 (人口1人当たり) (54年次51.07万円, 全国は44.42万円) <p>財政の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆警察費割合 (対歳出決算総額) (府財政) (55年次12.15%, 全国は6.88%) ◆労働費割合 (同) (同) (55年次1.75%, 全国は0.88%) ◆人件費割合 (同) (同) (55年次46.57%, 全国は36.93%) ◆警察費 (人口1人当たり) (府財政) (55年次18.63千円, 全国は14.45千円) <p>健康・医療の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆一般診療所数 (人口10万人当たり) (55年次88.87所, 全国は66.30所) ◆医療施設に従事する医師数 (同) (55年次172.20人, 全国は127.13人) 	<p>家計の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆消費者物価指数対前年上昇率 (光熱・水道) (56年次13.20%, 全国は4.00%) <p>乗用車所有数量</p> <ul style="list-style-type: none"> (全世帯, 1,000世帯当たり) (54年次957台, 全国は670台) <p>◆電子レンジ所有数量 (同)</p> <ul style="list-style-type: none"> (54年次457台, 全国は301台) <p>◆ピアノ所有数量 (同)</p> <ul style="list-style-type: none"> (54年次239台, 全国は190台) <p>安全の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆交通事故死亡者数 (人口10万人当たり) (55年次12.50人, 全国は7.48人)
---	--

全 国 第 3 位

<p>労働の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆他市町からの通勤者比率 (対就業者総数) (55年次41.63%, 全国は32.08%) <p>居住環境の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆住宅用電話数 (人口1,000人当たり) (55年次252.44台, 全国では223.72台) <p>経済基盤の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆財産所得 (人口1人当たり) (54年次19.74万円, 全国は17,63万円) <p>家計の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆消費者物価地域差指数 (総合) (東京都区部=100) (56年次97.0, 全国は92.1) <p>安全の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆火災死傷者数 (建物火災100件当たり) (55年次30.92人, 全国は22.02人) ◆交通事故発生件数 (生活道路実延長千km当たり) (55年次743.18件, 全国は280.56件) ◆交通事故発生件数 (道路実延長千km当たり) (55年次1020.51件, 全国は429.13件) 	<p>人口・世帯の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆出生率 (出生児数/総人口) (55年次14.77%, 全国は13.47%) <p>◆普通世帯平均人員</p> <ul style="list-style-type: none"> (55年次3.79人, 全国は3.33人) <p>労働の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第2次産業就業者割合 (対就業者総数) (55年次40.03%, 全国は33.57%) <p>居住環境の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆借家住宅の戸数 (住宅当たり) (53年次18.20戸, 全国は14.82戸)
---	---

県況・業界動向

昭和59年度の経済見通し

政府の昭和59年度の経済見通しは総選挙があったせいで発表が遅れているが、金融機関等民間機関の見通しは例年どおり出揃った。それによると各機関の経済成長率は表のようになっている（今後修正されるかも知れないが）。

発表機関名	実質（名目）成長率（%）
東 海 銀 行	3.7 (5.1)
三 和 銀 行	4.1 (6.1)
太 阳 神 戸 銀 行	4.1 (※6.1)
三 菱 銀 行	4.5 (※6.5)
住 友 銀 行	3.8 (5.5)
富 士 銀 行	3.7 (※5.7)
京 大	3.9 (6.8)
大 和 証 券 研 究 所	4.8 (※6.8)
野 村 総 合 研 究 所	4.2 (※6.2)
國 民 経 済 研 究 所	4.2 (※6.2)
日本リサーチ総研	3.6 (※5.6)
日 輿 リ サ チ	4.2 (※6.2)

(注) 名目成長率のうち※印のものは当方で推計。推計は名目値を発表している4機関のデフレーターの平均値(1.019)を用いて実質値から換算した。

当然のことながらいわば十人十色の見通しとなっている。どの数値が正しいのだろうかと迷う人もあるだろう。どれが的を得ているかは結果を見ないと分らない。しかしそれなりの利用の仕方はある。ところで企業が日常用いるにはその年の市場価格としての名目値が適しているので、名目経済成長率を用いると次のとおりである。

・最大値	6.8% (実質4.8%)
・最小値	5.1" (" 3.7")
・加重算術平均	6.1" (" 4.1")
・中位値	6.2" (" 4.2")
・モード（最頻値）	6.2" (" 4.2")

	国民総生産 (GNP)	京都府	京都市	滋賀県
53年度	2,067,625億円(9.5%)	シェア2.1% 43,677億円(9.3%)	シェア1.4% 28,065億円(9.6%)	シェア0.9% 18,661億円(15.4%)
54年度	2,220,431億円(7.4%)	2.2% 47,753億円(9.3%)	1.4% 30,507億円(8.7%)	1.0% 21,200億円(13.6%)
55年度	2,406,470億円(8.4%)	2.1% 50,968億円(6.7%)	1.3% 32,384億円(6.2%)	0.9% 21,362億円(0.8%)

(注) 1. 名目値、2. () は成長率、3. 京都府、京都市、滋賀県の府（市、県）民総生産は、現在55年度までしか発表されていない。

さて、これら経済成長率の用い方としては、①売上げの努力目標とするには…最大値を、②収入見込みにはシビアに…最小値を、③まずは平均並みと考えるケースでは…平均値、中位値、モードのいずれかを、引用する。

ところで、予測にとって重要なのは経済成長率の数値と同時に、予測に用いられている構成要素と算出根拠である。

上記の経済成長率が予測されている主な要素とその内容は次のようにある。

①G N P の構成項目として53% (57年度) のウェイトをもつ個人消費が、企業業績の回復に伴う賃金の58年度より大きな上昇率 (5%前後) と、時間外手当・ボーナスの増加及び減税並びに、物価の安定によって、緩かながら回復していく。

②G N P の17%を占める企業の設備投資が、輸出好調、原油引き下げ、金利軽減などによる企業収益の改善を受けて、中堅企業や中小企業を中心に、高度成長期に導入した機械の更新、合理化、新製品開発用投資によって増加する。

③G N P の5.3%をもつ住宅投資が所得の回復で増加する。住宅117~118万戸の建設が予想される。

④内需主導型の経済成長になるとはいえ、輸出も好調である。

⑤物価上昇率は卸売物価0.4%，消費者物2.0%程度と、物価は安定する。

⑥対ドル円レート年平均は212円台（円高）～235円前後（円安）と見方が分かれている。

☆では、京都と滋賀の昭和59年度の経済成長率はどうなるのであろうか。ここでその簡単な予測を試みよう。

まず、発表されている最近年度の実績は次のとおりである。

データーが少ないため正確さを欠くが、国民総生産との直線回帰計算（指数回帰計算より相関係数は

大であった）で推計した数値は次のとおりである。

	国民総生産 (G.N.P.)	京都府	京都市	滋賀県
58年度	2,819,493億円 (5.6%)	60,029億円	37,757億円	24,945億円
59年度	2,991,482億円 (6.1%)	63,703億円 (6.1%)	39,933億円 (5.8%)	26,272億円 (5.3%)
(相関係数 0.992)		(〃 0.991)		(〃 0.864)

(注) 1. 国民総生の成長率は、昭和58年度は政府、59年度は民間機関平均の予測値。 2. 名目値。

つまり、名目成長率は京都府は国並みの6.1%。京都市は5.8%，滋賀県は5.3%（もっと大きくなるのかも知れないが、55年度の成長率が急激に鈍化し

ているためうまく算出できない）と国レベルを下回る。そして全国シェアは京都府2.1%，京都市1.3%，滋賀県0.9%の経済規模である。

京都府内の企業経営予想天気図

業種	業界景気		生産(売上)高		経常利益		資金繰り	
	58年 10~12月	59年 1~3月	58年 10~12月	59年 1~3月	58年 10~12月	59年 1~3月	58年 10~12月	59年 1~3月
食 料 品	◎	◎	○	◎	⊗	◎	◎	◎
織 繊	●	●	●	●	●	●	●	●
染 色	●	●	○	●	●	●	●	●
織 繊 製 品	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	●
化 学 ・ ゴ ム	◎	◎	○	●	●	●	⊗	⊗
塗 業 ・ 土 石	⊗	◎	○	●	●	●	●	●
鉄 鋼	○	○	○	●	⊗	●	⊗	●
非 鉄	◎	◎	○	●	⊗	●	●	●
一 般 機 械	◎	◎	○	●	●	●	●	●
電 気 機 械	○	○	○	○	●	●	●	●
精 密 機 械	○	◎	○	○	●	⊗	●	●
木 材 ・ 木 製 品	●	●	⊗	●	●	●	●	●
出 版 ・ 印 刷	◎	●	○	●	●	●	⊗	●
そ の 他	○	○	○	●	●	●	●	●
食 料 品 卸	○	◎	○	●	●	●	●	●
織 繊 卸	●	●	○	●	●	●	●	●
機 械 金 属 卸	○	○	○	○	●	●	●	●
小 壳 業	◎	●	○	●	●	●	●	●
建 設 業	●	●	●	●	●	●	●	●
料 理 ・ 飲 食	●	○	○	○	⊗	⊗	●	●
旅 館 ・ ホ テ ル	●	●	○	●	●	●	●	●
情 報 ・ 事 業 サ ー ビ ス	●	●	○	○	●	●	●	●

B.S.I.	20.1 以上	20.0 ~ 10.1	10.0 ~ 0.1	0	-0.1 ~ -10.0	-10.1 ~ -20.0	-20.1 以上
記 号	○	○	◎	⊗	●	●	●

$$B.S.I. (\text{ビジネス・サーベイ・インデックス}) = \frac{1}{2} (\text{上昇・増加・楽} - \text{下降・減少・苦しい})$$

(資料) 第44回経済動向調査（昭和58年7月、京都商工会議所）から抜萃。なお、サービス業の3業種については同調査を当方において作図して追加した。

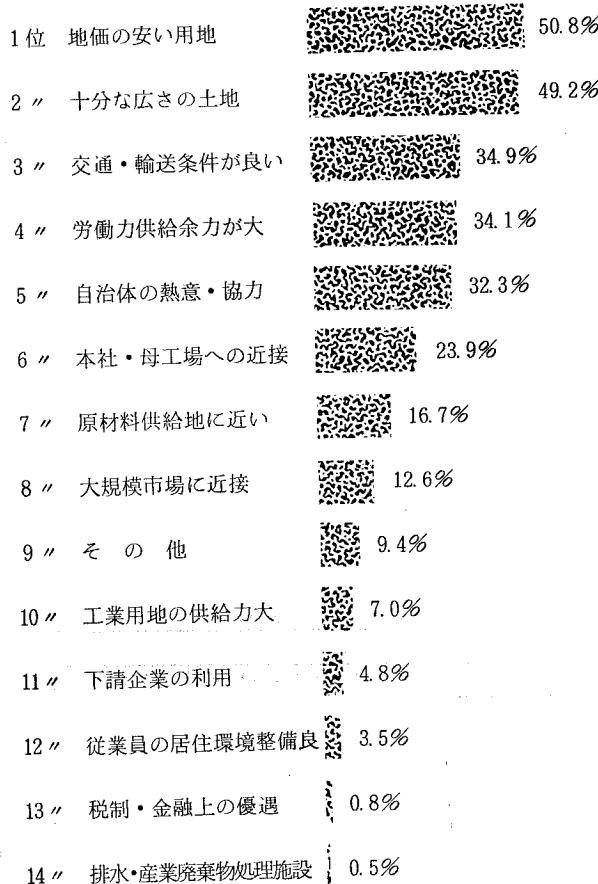
調査・診断

工場立地の要件とそのインパクト

—滋賀県についてみる—

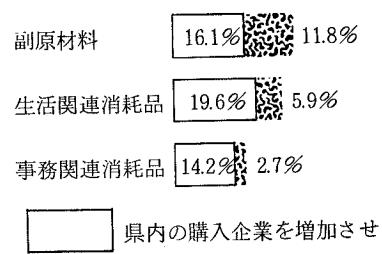
滋賀県商工会連合会調べ

1 工場立地先を選んだ要素



2 工場立地による地元への効果

(1) 副原材料、消耗品の県内利用



 県外購入商品を県内企業からの購入に変更する

一口メモ

予想のむづかしさ

旧ろう18日には、年末のあわただしさを突いて総選挙が行われた。ところでこの選挙でも、いつものことながらマスコミが盛んに党別の当選者予想数を書き立てた。

その結果はいかがだっただろうか。次表は実数と各紙の予想である。

党名	実数 (人)	予測数 (人)					誤差
		毎日	朝日	読売	サンケイ	東京	
自民	250	*260	278	274	267	262	10～28 (4～11.2%)
社会	112	*111	97	108	108	109	△1～△15 (0.9～13.4%)
公明	58	53	49	*57	55	55	△1～△9 (1.7～15.5%)
民社	38	32	30	32	*36	35	△2～△8 (5.3～21.1%)
共産	26	32	28	19	22	*25	6～△7 (23.1～26.9%)
新自ク	8	6	**8	7	**8	7	0～△2 (±0～25.0%)
社民連	3	*4	*4	*4	*4	*4	1 (33.3%)
無所属	16	13	*17	10	11	14	1～△6 (6.3～37.5%)

△はマイナス

(注) 1. 予測数の矢印の↗は実数より多目の予測、↘は実数より少な目の予測

**印は的中、*印は実数に最も近い予測

2. 誤差の()内は、誤差率 (=誤差÷実数×100)

注書き分は当方で作成

(出所)
予測数はサンディ毎日 '84.1.1
増大号 (毎日新聞社発行) から
引用。実数は58年12月19日朝日新聞夕刊

これらの予測は、各社とも投票日の1週間から10日前に行ったものであるとか。

詳しくコメントするまでもない。若干説明材料を添えた表を見て、おわかり頂けるであろう。

ただ言えることは予測がいかにもむづかしいかそのことを如実に示している1つの例ともいえよう。予測結果もさりながら、むしろ関心がもたれるのは、何故予測がそのように狂ったかという、その予測方法なり、ファクターについてである。

提言 (ちょっと一言)

わかったようで、わからないこと

- ラジオやテレビの天気予報「・・・所によっては、にわか雨が降るでしょう」。

現在の予報技術からはその程度しか言えないのであろう。だが、予報を利用する側としては「所」というのはどこだろうか。自分の居る所がそうなのだろうか、と迷う。

- 学生スポーツで、「進学校だのに…、国立大学にもかかわらず…」よくやる、という趣旨の表現でマスコミは伝えることがある。スポーツを競う場では、そのスポーツの技なり、スピリット、ファイトを云々すべきであって、あえてそのような表現を使う必要があるのだろうか。

校内暴力などの問題もあって、中曾根首相のお声えがかりで文部省も偏差値教育を改善することになったようである。しかしそれは学校教育そのもののみに目が向けられているようである? だが偏差値教育に走ったのは、中央官庁や一流企業や高所得が得られ見栄えのよい職業に就くことを目標に、そのため受験産業が作った偏差値で評価した一流大学、そして一流高校、さらに一流中学、といわれる学校へ入学することが必要として、親も本人もそれを狙うことにある。だとすれば、根本的には役所が、一流と称する企業が、レッテルにとらわれず人物本位で採用し、人を育てるといった態度をもつべきことが言及されなければならないであろう。

学校教育の改善が検討される場合に、要望すべきことを含めて、実社会との関連抜きにしては論じられない筈だが。

心と健康と人間関係の調和

中小企業診断士 品川 弥太男

ストレス学説を創始したカナダのモントリオール大学教授で同大学の実験医学研究所長であったハンス・セリエ博士は同じ程度の病人であっても早やく癒る人となかなか癒らない人がいることに気付き、その違いの原因を多くの患者について調べたところ、早やく癒る人は感謝の気持を持つことが多く、そうでない人は不平・不満が多く感謝の気持の少ない人であることが判った、そこでセリエ博士は患者に病気を早やく治すために感謝の心を持つようにと熱心にすすめたのです。

昔から「病気は気から」と言われているのですが、最近脚光を浴びるようになった心身医学では病気の原因はストレスであることが証明されています。精神的なストレスが自律神経の正常なハタラキを抑圧し、それによって内分泌等の機能を狂わせ、高血圧、狭心症、糖尿病、胃カイヨウ・十二指腸カイヨウを始め膠原病のような難病の原因になっているといいます。病気がなかなか治らず慢性化するのも因になるストレスを持ち続けているためであり、いわゆる管り者病というのは誰もが知っているストレス病の典型です。

人間(動物も同じ)の体には本来ホメオスタシス(正常化能)が備わっており、刻々と変る環境条件に対し、自律神経のハタラキで機敏に対応適応して生命を維持しているのであって自然治癒力もホメオスタシスのハタラキであるわけです。

深い感謝の気持になると自律神経は過緊張の抑圧された状態から開放されて自然の機能を取り戻し、自然治癒力が治療に働き病気は治癒するのだといいます。

しかし、苦しいときに感謝するなどなかなか難しいことです。ところが奈良県大和郡山市に内観研修所というところがあって、心の研修をしているのですが、ここでは説教など言葉で教えるというようなことはなくてひたすら自分で自分を反省することが求められます。この反省を3日か4日すると感謝の気持が噴き出てきて涙にむせび、歎哭するような体験をする。そうなると、心は清々しく軽くなり生きていることの歓びが胸にこみあがてくるのであって素直な謙虚な心になりますと同時に持病のある人はいつの間にか身体的な苦痛などの自覚症状が失くなり病気が治っていることに気付く不思議な体験をしています。

精神的ストレスの原因は人間関係であって人間関係が調和しているところにはストレスはないし、人はそのふれあいの中で生きる歓びを感じ、生き甲斐を感じるものですね。

感謝の心、謙虚な心は人間関係を調和に導くもので、これが正しい心の持ち方であることはホメオスタシスの自然が証明しています。

正しい心で健康で仕事に励むときは経済的にも自然に恵まれることになり、偉大な人生を営むことができるのですし、人間関係がよく、働く人々が職場に生き甲斐を感じ健康であることは企業経営においても原点となる要件です。

これから変化の時代はストレスも増すことが予想されるのですが、それだけに生き甲斐の求められるふれあいの時代であり、心の時代でありサービスの時代でもあります。

この時代に生きてゆくためには信頼し合い理解し合い、手をさしのべ合い励まし合う人間関係が一層求められることになります。

いまふれあう縁を大切に与えられた縁に感謝して心を込めて生きること、いまできる小さな親切を惜しみなく尽して生きることが大切で、そこに生きがいがあるのだと気付くことが大切ではないかと思います。

人の生きる真の歓びは身近な信頼し合い理解し合い愛し合うふれあいの中にあるのであって社員の士気もそれによって高まるものです。

いまさらこんな小集団活動やTQC活動もこのふれあいの歓びによって生き甲斐が感じられ、やる気を越させ職場の活性化につながり成果をあげているのです。

ハイテクノロジーの時代にはハイタッチが求められます。これからの人材育成に内観研修は見直されてよいのではないでしょうか。

(当支部会員)

会員の頁

謹 賀 新 年

昭和59年新春

中小企業診断士

(社) 中小企業診断協会京都支部有志

荒尾義晴 京都市下京区下魚棚通堀川西入 TEL 341-5331(代) 〒 600	黒川倉市 京都市中京区丸太町通東洞院東入る 藤原ビル TEL 211-6010 〒 604	中谷弥太郎 京都市下京区東洞院通五条上る TEL 351-8449・2140 〒 600
植田光雄 京都市中京区姉小路通富小路西入 菊屋町 56 5-1 TEL 221-1218 〒 604	黒崎徳之助 京都市上京区浄福寺通下立売下る 中務町490-19 TEL 801-0501(代) 〒 602	中野善蔵 京都市上京区西日暮丸太町下る 四丁目 TEL 811-2750・8732 〒 602
大木徹 京都市東山区間屋町通五条下る 3丁目 TEL 561-6171~4 〒 605	塩内長俊 京都市北区大宮玄琢磨北東町1-7 TEL 492-7044 〒 603	西畠好彦 京都市中京区西洞院通二条上る 薬師町652 TEL 231-5207 〒 604
大幡義夫 京都市下京区黒門通五条下る TEL 351-2552・6860 〒 600	柴垣秀雄 京都市北区上賀茂柳町49 TEL 781-9596 〒 603	広瀬来三 京都市中京区烏丸通二条下る ヒロセビル TEL 222-2051 〒 604
奥平恒巳 京都市西京区大枝西新林町6-15-3 TEL 331-1204 〒 610-11	高木健次 京都市北区大將軍西町80 TEL 463-8877 〒 603	堀村清蔵 京都市下京区西洞院通七条上る TEL 361-4455(代) 〒 600
奥村久一郎 滋賀県栗太郡栗東町上砥山1252 TEL (0775)58-1219 〒 520-30	城道雄 京都市右京区嵯峨朝日町2の16 幸栄ビル3階 TEL 881-2135 〒 616	村上泰三 京都市上京区大宮通下立売上る家 永町769 TEL 841-6709 〒 602
片岡憲男 京都市中京区丸太町通衣棚西入 玉植町222 TEL 256-1880(代) 〒 604	玉垣勲 京都市西京区川島尻堀町31-6 TEL 391-5963 〒 615	山口敏雄 京都市左京区吉田近衛町26の62 TEL 761-1514 〒 606
久保文男 京都市中京区室町通夷川上る鏡屋町 36の2 TEL 231-0403 222-0403 〒 604	中窪嘉邦 京都市右京区御室小松野町31の3 TEL 462-7497 〒 616	和田忠儀 京都市下京区河原町通六条下る ワダビル TEL 351-7127 〒 600

京都支部だより

(昭和58年7月～58年11月)

- 58. 8. 1 「診断京都」第30号を発行し、会員並びに関係先へ配布した。
- 8. 1 京都地区登録更新研修実行委員会を京都支部で開催し、準備の点検、当日の担当部門などを協議した。
- 8. 3～5 昭和58年度中小企診断士登録更新研修会を京都府立労働会館で開催し、商業部門56名、工鉱業部門38名が熱心に受講した。
- 8. 19 本部に「支部活動状況実態調査報告書(57年度)」の報告をした。
- 8. 31 支部常任理事会を府立労働会館で開催し、昭和58年度支部事業の実施について協議した。
- 9. 6 京都市から「昭和58年度京都市中小製造業の生産性と賃金」の調査委託を受け、受託契約をした。
- 9. 14 本部で全国支部長会議が開催され、黒川支部長が出席した。
- 10. 22 「58年度診断協会近畿ブロック会議」が大阪コクサイホテルで開催され、黒川支部長、黒崎、堀村、奥平副支部長が出席した。

工場見学研修会を開催した

- 10. 24 参加者40名
 - ・(株)タカラブネ(久御山町、和洋菓子大手メーカー)
 - ・日産車体(株)京都工場(宇治市、乗用車「サニー」等の組立て)
 - 企業のきびしいまでの経営方針、近代的・合理的な生産設備や工程並びに効果的

な販売戦略を、見聞する一方、見学工場側からの中小企業診断士に対する期待に応えて若干の提言をするなど、有意義な研修会であった。

黒崎副支部長受賞

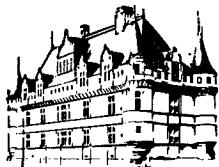
- 11. 1 中小企業基本法施行20周年記念式典 東京プリンスホテルで開催され、このが席上で、当支部副支部長黒崎徳之助氏は、多年にわたり中小企業の振興に格別の努力をされた大きな功績を讃えられて、中小企業庁長官表彰を受賞された。
- 11. 5 「診断京都」59年新年号の編集委員会を京都商工会議所で開催。
- 11. 10 「京都地区登録更新研修修了証明書」の交付及び「59年度診断士手帳」の配付を行った。
- 11. 18 京都公開経営指導協会から「昭和58年度京都市中小商業の販売生産性と人件費」の調査委託を受け、受託契約をした。
- 11. 30 京都市から受託した「昭和58年度京都市中小製造業の生産性と賃金」の調査を完了し、報告書を京都市に提出した。

○会員の消息

- 加入 〈第一種会員〉
(移籍) 堤 忠章氏 宇治市南陵町1丁目1-126
(勤務先 日本新薬(株)本社)
- 脱退 〈第一種会員〉
田畠周一郎氏、出井敏夫氏、田中義郎氏
(準会員)
中村大親氏

RESTAURANT FRANÇAIS

Azay-le-Rideau



フランス ロワール地方
アゼ・ル・リドー城

本物の味だけがあ届けする充実感を!
そしてキュイジーヌ・モデルヌの粋を!
フランス料理 アゼ・ル・リドー

シェフ 広瀬 陽

京都河原町三条上ル 京都ロイヤルホテル地階

☎ (075) 223-0009

■営業時間 ●午前11:30～午後2:00(日曜日 正午～午後2:30)
●午後5:30～午後10:00(ラストオーダー午後9:00)

バー ●午後5:30～午後10:00

■定休日 毎週火曜日

企業広告

選ばれたコーヒー豆
力強い“看板”です



OGAWA COFFEE 小川珈琲株式会社
京都市右京区西京極北庄境町20番地
電話 (075) 313-7333 (代)
滋賀営業所 滋賀県野洲郡野洲町三上神守田498
電話 (0758) 8-1147 (代)

京のアメ横・秋葉原

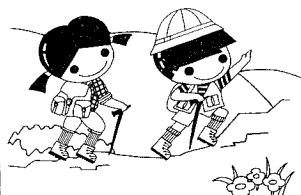
宮崎

営業品目 時計・貴金属・喫煙具・万年筆・
舶来雑貨・ゴルフ用品・電化製品
本店／二条通河原町西 ☎ 211-3408代
支店／百万辻電停東 ☎ 781-4608
支店／京都駅前近鉄百貨店内
グランマルシェ 2F

中信 ご利用ください 中信 62カ店 中信

目標きめて毎月掛け金

定期積金



月々のお積立てで、
資金づくりにぴったりの
マネープランです。



◎ 中央信用金庫

小松水産株式会社 経営

鮎料理

松水

しょう すい

滋賀県東近江市北小松 佃煮専門店 近江松水
(07759) 6-0251 東山区大和大路団栗下る
事務所 (07759) 6-0122 (075) 531-2877

あとがき 昭和59年度は景気が上向きそうである。
実質経済成長率が4%台になると、それは
55年度以来4年ぶりのこととなる。この期に企業は体质
を強化してもらいたいものである。中小企業診断士の役割
は益々増大するであろう。会員諸先生方のご活躍を大いに
期待いたします。(編集委員 奥平、福知、塩内、奥村)

診断京都

No. 31

昭和59年1月1日発行

社団法人 中小企業診断協会京都支部
〒604 京都市中京区丸太町通東洞院東

入藤原ビル TEL(075)211-6010

印刷所 真美印刷株式会社
TEL(075)821-2136(代)

プライダル シーンを考える

嫁ぐ日凜として…

ご婚礼衣裳

たかみ

京都・五条通河原町西 ☎ (075)351-7722